

※記載例を参照の上、ご記入ください。

(様式第3号)

企業・団体名(有限会社 シナノ精密)

SDGs達成に向けた具体的な取組 (要件 2) 【R5.11.30様式改定】

カテゴリ	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合選択入力	【予定】の場合選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (*【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	主なSDGs(17ゴールと169ターゲット)関連項目																
						1 未達成	2 未達成	3 未達成	4 未達成	5 未達成	6 未達成	7 未達成	8 未達成	9 未達成	10 未達成	11 未達成	12 未達成	13 未達成	14 未達成	15 未達成	16 未達成	17 未達成
1	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本			性別や年齢などによる差別が発生していないことを社長が確認している。今後、社員に対する教育体制を整備する。				5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8	10.2 10.3							16.1 16.2 16.7		
2	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本			就業規則にハラスメント禁止について記載し、発生しないように取り組んでいる。教育・相談体制は今後体制構築していく。				5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1		
3	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本			過度な長時間労働は発生していない。時間外労働を行なう場合には、上長への申請によるものとし、時間管理されている。							8.5 8.8										
4	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本	【非該当】		外国人労働者は採用していない。					4.4			8.7 8.8	10.2 10.3								
5	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本			化学薬品は取扱担当者を決めて取り組んでいる。朝礼にて周知を行ったり、ポスター掲示などにより、意識向上に務めている。		3					8										
6	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本			働きやすい職場環境整備に努め、話しやすい雰囲気づくりを行っている。		3															
7	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本			子育て中の社員が、安心して働くよう各種制度を整え、男性も育休を取得できる職場環境になっている。高齢者も定年後も働く環境となっている。				5.1 5.5			8.5	10.2 10.3									
8	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本			研修受講や資格取得に対する補助を実施している。				4	5.5		8	9									
9	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本			同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している					5.5		8.5	10.2 10.3									
10	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ			毎日のラジオ体操実施や、定期健診後の産業医からのアドバイス等を実施している。健康経営に関する登録を行う。			3				8										
11	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本			分別を行い、廃棄物、リサイクル資源などを分けて廃棄物削減に努めている。													11.6	12.4		14.1	
12	【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本			自社のエネルギー使用量を確認している。今後は記録を行うことも検討していく。							7.3						13				
13	【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本			照明をLEDへ入れ替えるなど、順次省エネに取り組んでいる。						7.2 7.3						12.4	13.3				
14	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本			化学薬品は取扱担当者を決めて取り組み、有害物質を掲示し悪影響に対する配慮を行っている。			3.9		6.3				11.6	12.4							

	チェック項目	取組 レベル	【非該当】 の場合 選択入力	【予定】の 場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
29 製品・サービス	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本			品質の安全性確保のため、ISOに則した規定を作成している。各部署にて確認できるよう体制を整えている。				3.9									12.4					
	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本			同上。社員一人一人が創意と工夫をもって良い製品づくりに挑戦する職場風土となっている。									9									
	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ											6					12	13	14	15		
	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
33 社会貢献・地域貢献	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本			自社事業が、地域に与える影響について、社長が把握し適切に対応している。				4					9		11	12		14	15		17	
	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ			地域の行事に対し、積極的に寄付を行っている。 自社の駐車場を、地域の区民センター利用者に開放している。				4							11			14	15		17	
	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ			地元の方を積極的に採用している。								8	9		11	12	13					
36	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本			ホームページに社是、企業理念を掲載し、いつでもだれでも見ることができるようしている。								8	9								17	
37	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確實に遵守する体制・仕組みを構築している	基本			コンプライアンスに関しては、就業規則に記載し、遵守を徹底している。																	16	
38	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本			社長が中心となって取り組んでいる。																		16
39	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本			地区の会合には参加し、住民の意見を聞いている。																	16	17
40	【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ																					16
41	【社会的責任】 ・CSR (Corporate Social Responsibility : 企業の社会的責任) の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ																					16
42	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ														9	11		13	13.1			16
43	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ													8	9							17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組		具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】

・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。）

・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。

・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。

（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進労働者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）

○ この「要件2」は、ISO26000（※1）、RBA（Responsible Business Alliance）（※2）行動規範等を参考に、非財務情報（SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項）について整理し作成

○ 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は黒字、間接的（結果として）に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、赤字で番号を記載

○ 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載

※1…組織の社会的責任に関する国際規格 ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定